



沼津西ロータリークラブ週報



2013～2014年度
第23巻36号
2014年4月3日

**ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を**

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

例会場：ニューウェルサンプニア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

■■ 本日のプログラム ■■
PETS報告 次年度会長・幹事

◆◆第1084例会 会長挨拶◆◆

本村文一 会長

花見例会に参加された皆様、本当にお疲れ様でした。4月は雑誌月間となっています。

ロータリージャパンによれば次のように説明されています。RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌（『ロータリーの友』）に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。

チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された、『ザ・ナショナル・ロータリアン』（1912年に『ザ・ロータリアン』に改称）が発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としていました。『2007年手続要覧』の「ロータリークラブ定款」の「第14条 ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌、またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌（日本では『ロータリーの友』）を購読しなければならないと定めています。

ロータリアンの3大義務としても会費の納入、例会出席、ロータリー雑誌の購読があります。そんな中、地区のロータリーの友地区代表委員からロータリーの友・電子版のご紹介及び購読のす

すめをメールでいただきました。

ご覧いただくにはインターネットでロータリーの友 電子版にアクセスし、IDを入力して入ることができます。私も早速見てみました。

3月号を見ましたが当然ながら画像もきれいで優れている点は拡大してみることができる点です。雑誌にはできないこともできるようです。是非皆様もご覧になってください。

また改めてロータリーの友の熟読のお勧めがありました。「ロータリー歴の長い方には新たな発見が、浅い皆様にはロータリーの全貌が開けてくるであろう。

また委員会運営に苦勞されている方には多くのヒントが掲載されている」と。全く同感であります。

4月のプログラム

1085回	12:30	ニューウェルサンプニア沼津	4月10日(木)	外部卓話 山本浩義様 理事会①
1086回	18:30	ニューウェルサンプニア沼津	4月17日(木)	地区協議会報告 次年度会長幹事他 夜間例会
1087回	12:30	沼津特別支援学校	4月24日(木)	奉仕プロジェクト委員会 移動例会

●欠席者（2名）
重光 純、尾島康夫

●他クラブへの出席者
渡邊亀一（4/2 長泉RC）

会 長	本村文一	幹 事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編 集 者	宮島賢次

クラブ管理運営委員会

★出席報告（会員総数24名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1084 回	24名	22名	-	91.67%
1082 回	23名	14名	2名	69.57%

●スマイル報告

1. 本村文一：本日は、PETS報告、よろしくお願いします。
2. 成田みちよ：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 名古屋良輔：ガバナー補佐指名委員会、鈴木良則さん、植松 正さん、お世話になりました。
4. 鈴木良則：白隠さんに桜祭りが雨で残念でした。
5. 芹澤和子：PETSの二次会残金です。
6. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 連絡、報告事項

- ①次週は理事会があります。理事の方は出席又協議事項の提出をお願いいたします。
- ②4月のロータリーレートは1ドル=102円です。
- ③4/10の友人同伴例会、4/24の特別支援学校移動例会の出欠席を記入お願いします。

PETS報告

次年度会長 芹澤和子 君

3月15日（土）～16日浜松北ロータリーホストで、PETS（次期会長、幹事研修会）に参加いたしました。初日は懇親会でした。2014～15年度ゲイリーC. K. ホアン国際ロータリー会長 “ロータリーに輝きを” の方針が会場全体を表しているように、明るく輝いていました。又 RI 会長の作曲したロータリーへのプレゼント曲が会場に流れておりました。

女性が非常に少なく3名位しかおりませんでした。



た。参加者同士の挨拶と同時に皆さん、新年度に向かっての方針等の会話を懇親会の中で致しました。

16日研修に入り岡本一八ガバナーエレクトの方針の話は、共に同じ方向性を持ちながら、又、我がクラブの独自性を活かして、活動するのに大変説得力のある内容でした。多様性を基盤としたクラブ運営は、クラブ一人一人の独自性を活かす。世界に比べ女性会員が非常に少ないので、女性会員を増やす。新会員200名の目標。地域社会奉仕の研究をし、アイデアを生み出し活動する。この活動を地域に広めロータリーの名前を広める。従来の習慣にとらわれず、新会員の新しい意見を聞き社会ニーズの変化、将来を見据えた活動をして、ロータリーファミリー作る。

大変意気込みを感じる研修会でした。

次年度幹事 植松 正 君



私にとりましては、7年振り2度目のPETS参加です。初日は懇親会が開かれ、同分区の富士・富士宮地区メンバーと親睦を図り、有意義な時間が過ぎました。2日目の本会議では、岡本ガバナーエレクト（GE）より、ゲイリーC. K. ホアンRI会長エレクトの2014-15年度テーマ「ロータリーに輝きを」をもたらすため、会員増強を最優先課題とし、「過去視線から未来視線にチェンジ」とする方針が発表されました。

具体的には、地区会員数がピークより1500人も減少している現状を踏まえ、新会員200名入会を目標とし、施策としてレディース委員会を立ち上げるほか、各クラブによる高額会費の見直しを図るよう求めました。その他、地域住民の目に見える社会奉仕活動を推進や、1人100ドルに縛られない寄付増強を求める一方、地区資金負担金を前年比1千円減額するなど、変革しようとする岡本GEの強い意思を感じさせる方針・目標であります。

次年度の始まりを感じさせ、大きな期待?と少しだけ憂鬱になった2日間でありました。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を

2013～2014年度
第23巻37号
2014年4月10日

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 山本浩義様

例会場：ニューウェルサンプリア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局 ● TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ● 川口恵美
Email ● numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第1085例会 会長挨拶◆◆

本村文一 会長

本日は友人知人例会となっています。3名の方に来ていただきました。ロータリーの雰囲気を楽しんでいただきたいと思います。

さて日曜日は地区協議会に次期会員増強維持委員長として参加させていただきました。いよいよ次年度の始まりですね。次年度の岡本ガバナーが最も重視している事は会員増強との事です。昨年は各クラブ1名純増が目標でしたが、今年は地区で200人との事です。

まず次年度地区会員増強維持委員長から、RI第1～3ゾーンの会員増強維持セミナーの報告がありました。それによると1つはSAKUJI作戦の施行。SAKUJIとは言うまでもなく前RI会長の田中作次さんのことですが、サクセスジャパンの頭文字でもあります。会員が日本にいるクラブ会員候補者を地区本部に紹介し、入会见込みのある方だけに希望するクラブを聞いて地区増強委員長からクラブ会長宛に推薦状と紹介状を送付、クラブは本人と面会するというものです。

2つめは女性会員を増強すること。世界的にはロータリークラブ会員のうち女性が占める割合は17.8%であるのに対し、日本では5.1%でありまだまだ差があり、女性の社会進出に比べ非常に少ない。

3つめは会員維持つまり退会防止、昨年は197名の退会があり、特に3月から6月が大切な時期で退会サインの出た会員をみんなでかわるがわる引止めをする。

4つめはクラブ拡大として新しいクラブを増やすということでした。この中でも次年度の大きな特徴はレディーズ委員会の新設です。その具体的目標は女性会員を1年で50名増やすというものです。過去10年で女性会員は49名しか入会してないことを考えると、一見

無謀とも思われる計画ですが78クラブのうち50クラブで1人女性会員を入会できれば可能なのです。そう考えればできそうですね。

また具体的な各クラブでの推奨活動について次のことを話されました。

- 1, ロータリーデーでロータリーの雰囲気を味わう。まさに今日のように年3回会員増強維持委員長の主体で新会員候補者をお誘いする。
- 2, 女性会員ゼロクラブと女性会員が多いクラブとの合同例会を開く。女性会員のいるクラブの魅力を知ってもらおうというところでしょうか？また地区での活動としては静岡東中西の3地区と山梨のあわせて4地区に分かれ増強フォーラムを開催するということでした。今年は当クラブとしてはみなさんのおかげで会員増強がうまく行き、4名増加です。何と言っても数は力です。仲間をあと1～2人増やしましょう。

4月のプログラム

1086回	18:30	ニューウェルサンプリア沼津	地区協議会報告
4月17日(木)		次年度会長幹事他	夜間例会
1087回	12:30	沼津特別支援学校	校内見学
4月24日(木)		奉仕プロジェクト委員会	移動例会

5月のプログラム

1088回	12:30	会員卓話	名古屋良輔君
5月01日(木)			
1089回	12:30	クラブフォーラム⑤	
5月08日(木)		クラブ広報委員会	理事会⑫
1090回	18:30	会員卓話	宮島賢次君
5月15日(木)			
1091回	12:30	アシスタントガバナー期末訪問	
5月22日(木)		片岡アシスタントガバナー	
1092回	12:30	イニシエーションスピーチ	
5月29日(木)		颯川ゆう子君	

会 長	本村文一	幹 事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編 集 者	宮島賢次

★出席報告（会員総数24名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1085回	23名	20名	-	86.96%
1083回	23名	14名	6名	86.96%

●ゲスト

1. 山本浩義様：アスクラロスルガ(株)代表取締役
2. 後藤国照様：(株)静岡精機
3. 金井宏枝様：(株)綿安商店
4. 室伏博子様：(株)一級建築士事務所 室伏薫DR

●欠席者（3名）

伊縫文哉、土屋昌之、成田みちよ

●他クラブへの出席者

重光 純(3/28 せせらぎ三島RC)
 芹澤貞治(4/5 会長・幹事会)重光 純(4/8 沼津北RC)
 芹澤和子、植松正、久松 但、伊縫文哉、井上武雄
 宮島賢次、本村文一、芹澤貞治、田村治義、上野祥行(4/6 地区協議会)

●スマイル報告

1. 後藤国照様：本日は、お招き頂き、ありがとうございました。
2. 重光 純：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 尾島康夫：誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 本村文一：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。
5. 本村文一：友人、知人の皆様、ようこそいらっしゃいました。
6. 本村文一：アスクラロスルガ山本様、本日は卓話よろしくお願ひします。
7. 久松 但：山本様、子供が色々お世話になり、ありがとうございました。
8. 栗原侑男：24日は、移動例会です。よろしくお願ひいたします。
9. 上野祥行：本日は、友人例会に室伏様をおつれしました。宜しくお願ひします。
10. 植松 正：山本様、卓話よろしくお願ひします。
11. 尾島康夫：エヌ・イーケムキャットは、今年の4月9日で創立50周年です。
12. 鈴木良則：所用につき、早退させて頂きます。

1. 近隣クラブの例会変更

- ①沼津柿田川RC
4月14日(月) 夜間例会(新入会員歓迎会)

2. 連絡、報告事項

- ①本日は例会終了後、理事会があります。理事の方は出席お願いします。
- ②次週は、夜間例会です。お間違いのない様、お願いします。

理事会報告

1. 報告事項

- ①第3分区、会長・幹事、会員増強会議4月5日に幹事が出席しました。
- ②ガバナー事務所より、2016～2017年度ガバナー候補者推薦書が届きました。
- ③ガバナー事務所より、米山奨学生世話クラブ、カウンセラー決定の報告が届きました。
- ④3月末現在の各委員会別の支出実績をまとめました。

2. 協議事項

- ①5月度プログラムの件 クラブ管理運営委員長 芹澤和子君 ⇒承認
- ②5・6月度座席表 SAA 井上武雄君
・入会日順とする ⇒承認
- ③沼津土木事務所より、河川法の一部改正に伴う今後の許可工作物の維持、修繕について要望があった件(河川・原地区センター入口の立て看板)
・奉仕プロジェクト委員会にて、年一回(鮎の放流の際)点検する ⇒承認
- ④千本浜遊歩道清掃の件 奉仕プロジェクト委員長 栗原侑男君
・委員会案のとおりとし、例年どおり参加者はメークアップ扱いとする ⇒承認
【日時】5月18日(日)9:30集合(栗原自動車)
【参加者想定】会員・家族等18名、加藤学園IAC20名、特別支援学校10名
【費用】IAC謝礼(交通費)、看板柱塗装等費用
- ⑤千本浜清掃慰労会の件 クラブ管理運営委員長 芹澤和子君
・委員会案のとおり、⇒承認
会場 杉山真一君宅南側

アスルクラロスルガ㈱
代表取締役 山本浩義様



東部地区への想い

これまで23年間、青少年のスポーツ活動を中心に、地域の皆さんの「健康づくり」と「コミュニティづくり」をサポートしてきました。しかし、5年ほど前から東部地域のために何か役立ちたいとの思いが強くなりました。これまではジュビロ磐田と提携しているということもあり、優秀な選手はジュビロ磐田のユース(18歳以下)チームへ送っていました。しかしそこに入れる選手は、本当に限られた一部の選手しか入れず、あまり東部地域のためにはなっていませんでした。そこで、東部地域にもJFLのチームを作りたいと考え、2008年度より社会人のチームの強化に当たりました。強いチームを作ることで、子供たちに夢を与え、地域をスポーツで元気にできると考えていました。また、地域で生まれ育った優秀な選手を東部地域に残したいという思いもありました。

そんな折り、昨年3月にJリーグからJ3を創るという記事が新聞に出了ました。始めは申請をあげるつもりはありませんでしたが、まわりの方や弊社スタッフにも後ろを押され、準加盟の申請を出す決断をし、4月から準備を始め6月に準加盟の申請を行いました。9月のJリーグ理事会で準加盟の承認を受け、11月の理事会で「J3ライセンス」を取得しましたが、2014年シーズンからのJ3参入の夢は叶いませんでした。しかし昨年まで戦っていた東海リーグからは一歩前進し、2014年シーズンはJFL(日本フットボールリーグ)を戦うことになりました。

しかし、これまでのリーグとは比べものにならないぐらい、運営費が厳しくなり、Jリーグからは、しっかりとした組織体制と安定した財源の確保を行うように言われております。我々のクラブはJ1クラブのように大企業に支えられているクラブではありません。むしろ地域に根差した地域密着のクラブづくりを進めています。そして、育成に力を入れ育成に定評のあるクラブづくりを目指しています。いずれにしても地域企業のご支援、地域住民の協力なしには運営がままなりません。

Jリーグのチームがこの地域にできることで、交流人口も増え地域の活性化に必ず繋が

るものと確信しております。今後の課題はトップチームの安定財源の確保のみです。どうかスポーツで街を活性化するという夢に向けて、ロータリークラブの皆様にもご協力をよろしくお願い申し上げます。



-----3月分出席一覧-----

額川 (2, 1)	久松 (2, 2)	井上 (④)	伊縫 (1, 1)	栗原 (④)	宮島 (3, 1)	宮口 (3)
本村 (④)	名古(3, 1)	成田 (1)	大村 (1)	尾島 (2)	芹澤貞(④)	芹澤和(3)
重光 (1, 3)	下原(3)	杉山(④)	鈴木博(④) +1	鈴木良(2, 1)	田村(3, 1)	土屋(④)
植松(④)	上野 (④)	渡邊 (3, 1)				
			例会出席% 74 . 19 %		地区報告% 87 . 10 %	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



**ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を**

2013～2014年度
第23巻38号
2014年4月17日

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
地区協議会報告 次年度会長他

例会場：ニューウェルサンプリア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)
事務局 ● TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ● 川口恵美
Email ● numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆ 第1086例会 会長挨拶 ◆◆

本村文一 会長

先日、熊本で鳥インフルエンザが発生しました。平成23年以来のことです。多くの鶏が殺処分されました。中国では鳥インフルエンザ患者が100人以上亡くなったようです。しかし医療の進んだ日本ではそれほど死者が出ることは考えられず、たとえ鳥インフルエンザに罹っても現存のインフルエンザの薬で効くようですし私はあまり危機を感じていません。それよりも私が気になるのはエボラ出血熱のことです。皆さんは聞いたことがありますか？

このエボラ出血熱の存在を世に知らしめたのはアメリカ映画「アウトブレイク」でした。エボラ出血熱はフィロウイルス科エボラウイルス属のウイルスを病原体とするウイルス感染症です。エボラウイルスは80～800nmの細長い RNA ウイルスであり、ひも状、U字型、ぜんまい型等形は決まっておらず多種多様です。初めての患者の出身地のエボラ川からエボラ出血熱と名づけられました。患者の多くは中央アフリカ及び西アフリカに発生しています。自然宿主はコウモリが有力視されています。感染力は強いのですが基本的に空気感染はせず感染者の体液や血液に触れなければ感染しません。空気感染があれば、世界は滅亡の危機となるところです。ただし飛沫感染はあります。潜伏期間は7日間で発病は突発的で発熱、悪寒、筋肉痛、食欲不振から嘔吐、下痢、腹痛さらに症状が進むと口腔、歯肉、結膜、鼻腔、皮膚、消化管など全身いたるところから出血、吐血、下血がみられ死亡率は50～89%と非常に高いものです。

エボラ出血熱に対するワクチンや有効な治療法は確立されていません。そのエボラ出血熱の状況が今年1月から緊急事態です。ギニアとリベリアだけで110人以上が死亡している様です。感染疑いはマリとシエラレオネでも報告されており、国際支援団体「国境なき医師団」は『これまでにない規模の流行であり前代未聞の事態』と警告し、WHO はこのことに関して「難しい課題の一つ」と表明、克服に時間が必要との見通しを示しました。このウイルスはその危険さゆえウイルス兵器への転用も危惧されています。遠い離れた場所の出来事と思われるかもしれませんが、今は飛行機の時代、何時間単位で患者が入国してしまう可能性はいつでもあるのです。まだまだ医学で解決できないことは山ほどありますが、医者無力さを痛感させられる病気の1つであります。少し大げさな話をしましたが、常に衛生観念、危機意識をもつことが自分を守るために肝要と思われます。以上、会長挨拶とさせていただきます。

4月のプログラム

1087回 12:30 沼津特別支援学校
4月24日(木) 奉仕プロジェクト委員会 移動例会

5月のプログラム

1088回 12:30 会員卓話 名古屋輔君
5月01日(木)

1089回 12:30 クラブフォーラム⑤
5月08日(木) クラブ広報委員会 理事会⑫

1090回 18:30 会員卓話 宮島賢次君
5月15日(木)

1091回 12:30 アシスタントガバナー期末訪問
5月22日(木) 片岡アシスタントガバナー

1092回 12:30 イニシエーションスピーチ
5月29日(木) 瀬川ゆう子君

会 長	本村文一	幹 事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編 集 者	宮島賢次

クラブ管理運営委員会

★出席報告（会員総数24名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1086回	23名	18名	-	78.26%
1084回	24名	22名	1名	95.83%

●欠席者（5名）

久松 但、宮口雅仁、尾島康夫、芹澤和子、鈴木良則

●他クラブへの出席者

芹澤和子、植松 正（4/12 会長、幹事会）
重光 純（4/14 沼津柿田川RC）

●スマイル報告

1. 本村文一：今日は、地区協議会の報告、よろしく
お願いします。
2. B・C・Dテーブル：テーブル会の残金です。

幹事報告

1. 近隣クラブの例会変更

①新富士ロータリークラブ

4月22日(火)夜間例会 新旧委員長会議

2. 連絡、報告事項

- ①次週は、沼津特別支援学校校内見学です。
- ②5月18日(日)千本浜遊歩道海岸清掃の出欠席を記入
願います。尚、出席の場合はメーキャップ扱い
となります。
- ③地区より、次年度の地区補助金プロジェクトの申
請に対し、承認の連絡がありました。

地区研修・協議会

芹澤和子 会長エレクト

4月6日柿田川クラブと共に地区協議会に参加いたしました。会長セミナー時と、ほぼ同内容でしたが、分科会では寄付に対する意見が沢山出まして、分科会の時間オーバーになりました。

クラブを代表している人達の会議でしたので、次期、次々期を見据えた意見でした。



宮島賢次

ロータリー財団委員長



ロータリー財団委員長の役割は、補助金プロジェクトへの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し、実施することです。

また、クラブ・ロータリー財団委員会の責務は、会員にロータリー財団についての教育を行い、財団のプログラムを理解し参加及び寄付をしようという気持ちが生まれる様にすることだそうです。

分科会では、寄付金の行方と補助金の構成及び活用方法の説明が主にありました。その他、ポリオ・プラスでは、残る数か国の内インドで撲滅がなりましたが、残る未開発地域や紛争地域などで発症数が増えているそうです。財団学友会では、クラブ例会の卓話者として体験談などを話す用意があるそうです。次年度は考えたいと思います。また、従来の研究グループ交換（GSE）に替わる職業研修チーム（VTT）についての説明がありました。

上野祥行 新入会員

地区研修委員会委員長の積氏からお話があり、唯一変化してはならないのが職業奉仕であり、自分の職業（仕事）を成すこと。それこそが社会奉仕に繋がる。

会員同士の絆づくり、新たな友達づくりを奨め、職業奉仕を応援しよう。家族があり仕事があり、そしてロータリーがあるんだと言われました。

その為に、新会員は例会に出席し続ける事。各クラブの例会前に早めに行き先輩達と積極的に会話をしよう。各クラブの小規模な会（テーブル会等）に出席しよう。

例会に出席出来ない時は、メーキャップを必ずする事。親睦を深め仕事に活かせるよう自ら行動しようとなりました。積極的に出席し、本音で話し合える仲間を作り、自ら幸運を掴もう！何よりも永続が大事で、多様性に富んだロータリーの価値観を得るために実践しようという激励があり、私も実践し頑張ります。





沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を

2013～2014年度
第23巻39号
2014年4月24日

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
静岡県立沼津特別支援学校 見学

例会場：ニューウェルサンプリア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)
事務局 ● TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者 ● 川口恵美
Email ● numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第1087例会 会長挨拶◆◆

本村文一 会長

連日、ニュースは韓国沈没船の話でもちきりです。この旅客船はセウォル号といい476人を乗せ済州島に向かう途中沈没しました。事故の原因は急旋回したため積荷の片寄りでバランスを崩したためと考えられています。そもそも船長が事故当時操舵しておらず20代の経験浅い女性3等航海士が操舵しており、安全対策訓練もしてなかったようです。また船長の事故後の行動にも疑問がもたれています。管制センターは乗客に救命胴衣を着けて早く脱出するように強く促したようですが、船内放送では「その場から動かないように」との指示が出る一方、船長はいち早く脱出していました。本来、運行や管理を行うべき立場の船長や航海士といった乗務員が乗客よりも先に脱出したことが明らかになり乗務員に対する非難が集まっています。

また日本を始め、各国から協力の申し出が出ていたにもかかわらず断っていた政府の態度に対しても批判が出ています。このように今回の事故をめぐる韓国政府や海洋警察の対応の悪さや人災とも言える事故原因や船会社の杜撰な管理、度重なるメディアの誤報などに振り回された被害者家族の失望と心労、怒りはピークに達しています。

韓国はこれまでも安全を無視したが故の大惨事が度々起こっています。2003年にテグで起きた地下鉄放火事件では乗客192名が死亡、148名が負傷しました。この時も乗客の安全を誘導すべき立場の運転士2名が適切な避難誘導をせず現場を離れたこと、事件後テグ都市鉄道公社が組織ぐるみで虚偽の供述や隠蔽工作した事が明るみになりました。

そんな中、5年前に日本で起きた横転事故との比較が韓国で注目されています。フェリーのありあけ号の事故は2009年11月三重県沖の熊野灘で発生しました。航行中に高波を受けて船体が傾きコンテナを固定していたチェーンが破断するなどして荷崩れし、横倒しになりました。座礁したため沈没は免れましたが、乗客7人と乗員21人は全員無事でした。閑散期で乗客が少なかったこと、船が大きく傾いた後船長が乗客を船内最上部に誘導するよう指示したことが奏功しました。船長は船に残り最後に海に飛び込んで救助されました。

セウォル号とありあけ号は同じ日本の造船所で建造され、2隻は同じ運行会社に所属するフェリーでした。韓国紙は船の規模や傾き方が似た事例として取り上げ死者が出なかったことを強調しました。ありあけ号も乗客が多ければ被害が大きくなった可能性もありますが船長をはじめとする乗員の的確な避難誘導が死者を出さなかった一番の理由と思われる。どんなに技術が進んでも最後は人間の意識です。悲劇を防ぐために日々安全を見つめなおす。ルールを守る。命を扱う仕事としては最も大切なことです。

5月のプログラム

1088回	12:30	会員卓話	名古屋輔君
5月01日(木)			
1089回	12:30	クラブフォーラム⑤	
5月08日(木) クラブ広報委員会 理事会⑫			
1090回	18:30	会員卓話	宮島賢次君
5月15日(木)			
1091回	12:30	アシスタントガバナー期末訪問	
5月22日(木) 片岡アシスタントガバナー			
1092回	12:30	イニシエーションスピーチ	
5月29日(木) 穎川ゆう子君			

会 長	本村文一	幹 事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編 集 者	宮島賢次

クラブ管理運営委員会

★出席報告（会員総数24名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1087回	23名	19名	-	82.61%
1085回	23名	20名	0	86.96%

●欠席者（4名）

伊縫文哉、名古屋輔、成田みちよ、下原満知子

●スマイル報告

1. 本村文一：本日は、特別支援学校での例会です。奉仕プロジェクト委員会のみなさま、よろしくお願いします。
2. 栗原侑男：移動例会、御苦労様です。
3. 鈴木良則：沼津特別支援学校の皆様、お世話になります。
4. 芹澤和子：沼津特別支援学校の皆様、よろしくお願いします。
5. 杉山真一：沼津特別支援学校の皆様、本日は、よろしくお願いします。
6. 上野祥行：沼津特別支援学校の皆様、本日は、宜しくお願いします。
7. 颯川ゆう子：沼津特別支援学校の皆様、よろしくお願いします。
8. 久松 但：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 近隣クラブの例会変更

①富士宮西ロータリークラブ

5月02日(金)特別休会

5月16日(金)三つ葉ツツジのメンテナンス
朝霧アリーナにて

2. 連絡、報告事項

- ①5月18日(日)千本浜遊歩道海岸清掃の出欠席の記入をお願いします。尚、出席はメーキャップ扱いとなります。
- ②地区ロータリーアクト委員会より、地区ロータリーアクト地区協議会の案内が届きました。

沼津特別支援学校 見学報告

奉仕プロジェクト委員会

沼津特別支援学校は養護学校義務化の年である昭和54年に開校し、今年で36年目を迎えます。

平成25年度は92名の新入児童生徒を迎え、小学部122名、中学部59名、高等部141名、計322名の児童生徒でスタートしました。

目指す学校像は「共に育てる 自立と輝き」に向けて、今年度は「地域とつながった学校」を大きなテーマとして実践しています。

学校周辺の地域の方々とのつながり、子ども達が住む地域の方々とのつながり、同じ年齢の子ども達とのつながりを求めていると考えているそうです。

我々を含め地域社会の人達のさらなる理解と協力が必要だと思いました。



1 学校教育目標

子どもの持つ能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する。

<合い言葉> げんきで なかよく がんばる子

(1) 目指す学校像 ー共に育てる 自立と輝きー

ア 一人一人に応じた、自立と輝く力を育む学校（自立と輝き）

イ 児童生徒が安心して生活し、安全に学習できる学校（安心安全）

ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携を深め、共生共育の充実を図る学校（共生共育）

エ 教職員一人一人が授業力を高め、特別支援教育の専門性を養う学校（専門性）

オ 東部地域の特別支援教育におけるセンター的役割を果たす学校（地域支援）

2 小学部

一人一人に応じて、身辺自立できる能力を養う。

3 中学部

一人一人に応じて、生活自立できる能力を養う。

4 高等部

一人一人に応じて、主体的に社会自立できる能力を養う。

学校の進路学習については、個々に応じた生きがいのある生活と積極的に社会参加していく力をつけるため、保護者と連携をとりながら、組織的・系統的な進路指導を心がけています。児童・生徒の実態に基づき、ニーズに応じた適切な進路情報の提供、相談活動に努め、よりよい進路選択・進路決定に向けた支援ができるよう務めているそうです。

就職数は年々増えているそうですが、子供達の自立に向けて地域企業も更なる協力・支援を求められています。